景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

【調査方法】

Webによる無記名アンケート方式

調査時点　令和5年12月1日発送
令和5年12月15日回答期限

調査対象　信用保証利用先3,000企業

有効回答数　352 企業（回答率　11.7% ）

※ 当期：R05年10月～12月実績見込
次期：R06年1月～3月期予測

【DI値について】

◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引いて算出しています

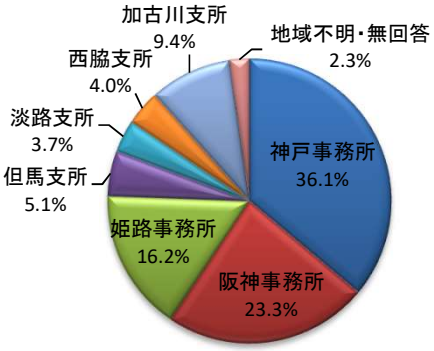
◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

兵庫県信用保証協会

Ⅰ．貴社の概要について

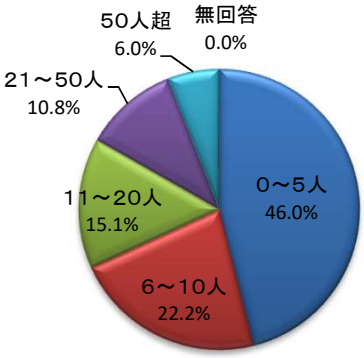
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	127	36.1%
阪神事務所	82	23.3%
姫路事務所	57	16.2%
但馬支所	18	5.1%
淡路支所	13	3.7%
西脇支所	14	4.0%
加古川支所	33	9.4%
地域不明・無回答	8	2.3%
合計	352	100.0%



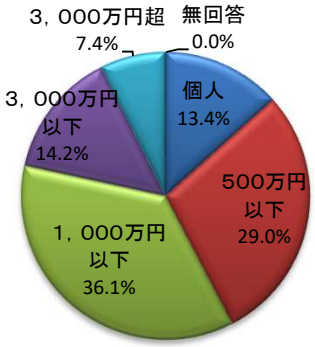
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	162	46.0%
6～10人	78	22.2%
11～20人	53	15.1%
21～50人	38	10.8%
50人超	21	6.0%
無回答	0	0.0%
合計	352	100.0%



資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

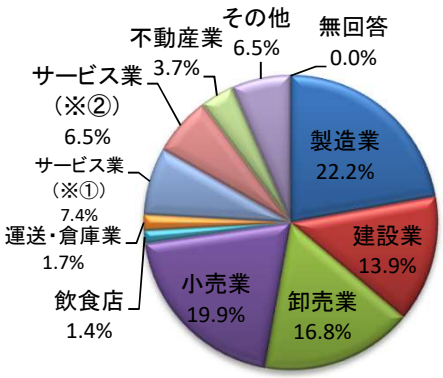
資本金	回答数	構成比
個人	47	13.4%
500万円以下	102	29.0%
1，000万円以下	127	36.1%
3，000万円以下	50	14.2%
3，000万円超	26	7.4%
無回答	0	0.0%
総計	352	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	78	22.2%
建設業	49	13.9%
卸売業	59	16.8%
小売業	70	19.9%
飲食店	5	1.4%
運送・倉庫業	6	1.7%
サービス業（※①）	26	7.4%
サービス業（※②）	23	6.5%
不動産業	13	3.7%
その他	23	6.5%
無回答	0	0.0%
合計	352	100.0%

※① 事業者を対象
※② 一般消費者を対象



Ⅱ. 貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。

(1)当期(23年10～12月期)は、前期(23年7～9月期)に比べどのような状況ですか。
(2)次期(24年1～3月期)は、当期(23年10～12月期)に比べどう思いますか。

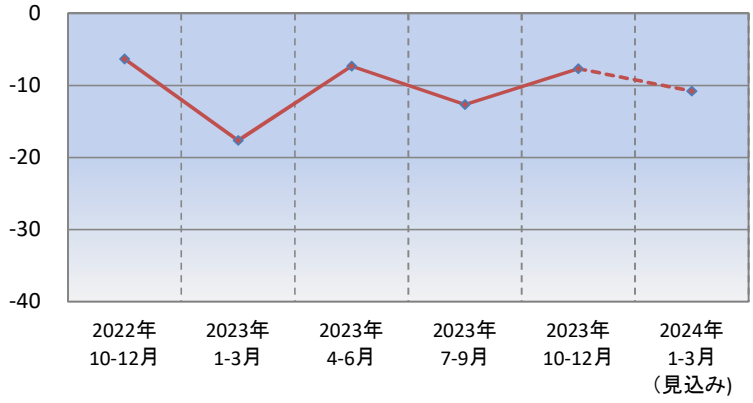
【生産・売上】

当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	103	29.3%
変わらない	119	33.8%
減少した	130	36.9%
無回答	0	0.0%
総計	352	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	80	22.7%
変わらないと思う	154	43.8%
減少すると思う	118	33.5%
無回答	0	0.0%
総計	352	100.0%



生産・売上DI(増加－減少)

調査時期(実績)	2021年 10～12月	2022年 1～3月	2022年 4～6月	2022年 7～9月	2022年 10～12月	2023年 1～3月	2023年 4～6月	2023年 7～9月	2023年 10～12月	2024年 1～3月 (見込み)
兵庫県	▲ 20.4	▲ 38.8	▲ 13.2	▲ 12.6	▲ 6.3	▲ 17.6	▲ 7.3	▲ 12.6	▲ 7.7	▲ 10.8

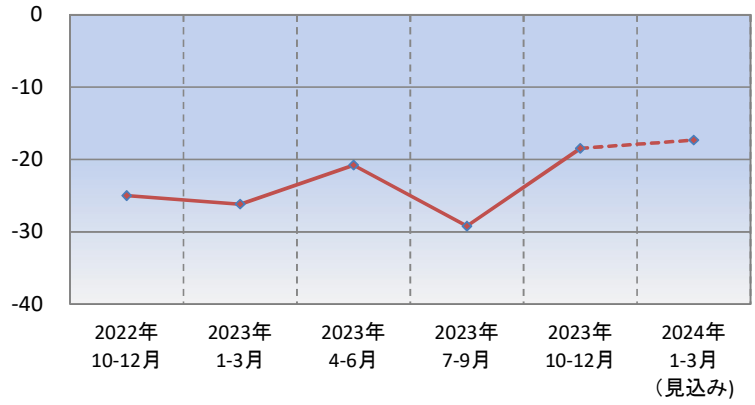
【採算】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	57	16.2%
変わらない	173	49.1%
悪化した	122	34.7%
無回答	0	0.0%
総計	352	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	59	16.8%
変わらないと思う	173	49.1%
悪化すると思う	120	34.1%
無回答	0	0.0%
総計	352	100.0%



採算DI(好転－悪化)

調査時期(実績)	2021年 10～12月	2022年 1～3月	2022年 4～6月	2022年 7～9月	2022年 10～12月	2023年 1～3月	2023年 4～6月	2023年 7～9月	2023年 10～12月	2024年 1～3月 (見込み)
兵庫県	▲ 27.8	▲ 45.4	▲ 30.3	▲ 27.8	▲ 25.0	▲ 26.2	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 18.5	▲ 17.3

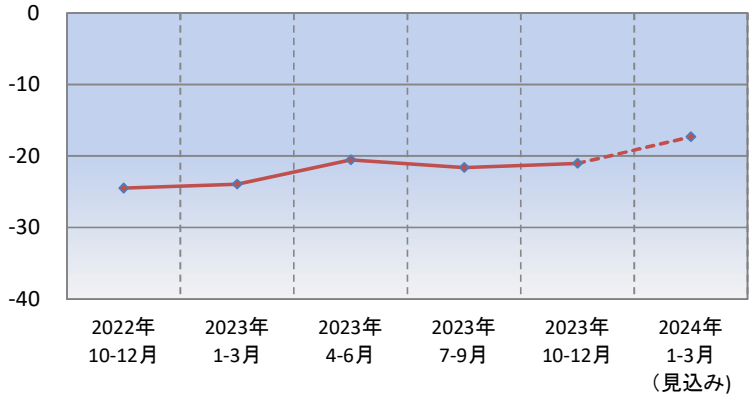
【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	35	9.9%
変わらない	208	59.1%
悪化した	109	31.0%
無回答	0	0.0%
総計	352	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	36	10.2%
変わらないと思う	219	62.2%
悪化すると思う	97	27.6%
無回答	0	0.0%
総計	352	100.0%



資金繰りDI(好転－悪化)

調査時期(実績)	2021年 10～12月	2022年 1～3月	2022年 4～6月	2022年 7～9月	2022年 10～12月	2023年 1～3月	2023年 4～6月	2023年 7～9月	2023年 10～12月	2024年 1～3月 (見込み)
兵庫県	▲ 20.4	▲ 32.8	▲ 23.0	▲ 23.2	▲ 24.5	▲ 23.9	▲ 20.5	▲ 21.6	▲ 21.0	▲ 17.3

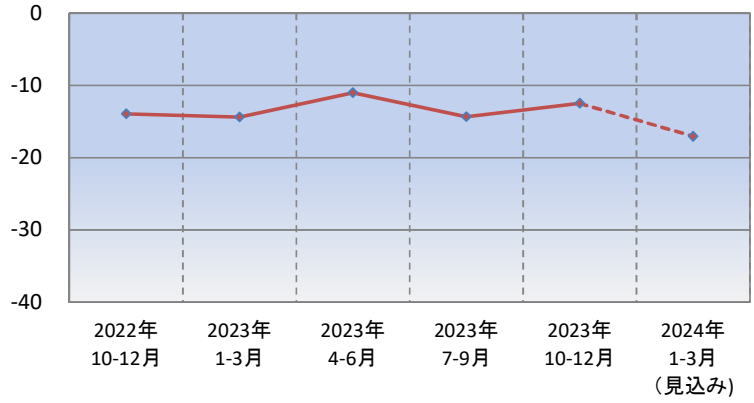
【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	17	4.8%
変わらない	274	77.8%
難しくなった	61	17.3%
無回答	0	0.0%
総計	352	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	17	4.8%
変わらないと思う	258	73.3%
難しくなると思う	77	21.9%
無回答	0	0.0%
総計	352	100.0%



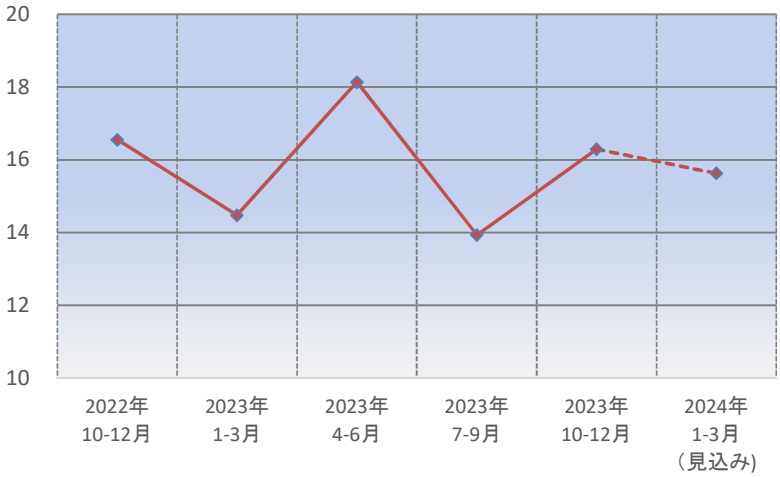
借入難易感DI(容易－難しい)

調査時期(実績)	2021年 10～12月	2022年 1～3月	2022年 4～6月	2022年 7～9月	2022年 10～12月	2023年 1～3月	2023年 4～6月	2023年 7～9月	2023年 10～12月	2024年 1～3月 (見込み)
兵庫県	▲ 11.1	▲ 14.1	▲ 15.3	▲ 9.9	▲ 13.9	▲ 14.4	▲ 11.0	▲ 14.3	▲ 12.5	▲ 17.0

当期(10-12月)のDI値については、前期(7-9月)に比べ、全ての項目において改善しました。
次期(1-3月)のDI値については、当期(10-12月)に比べ、「採算」「資金繰り」の項目において改善し、「生産・売上」「借入難易感」の項目において悪化する見込みとなっています。

【金融機関からの信用保証付要請】
次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	75	21.3%
変わらないと思う	257	73.0%
弱まると思う	20	5.7%
無回答	0	0.0%
総計	352	100.0%



信用保証付要請DI(強まるー弱まる)

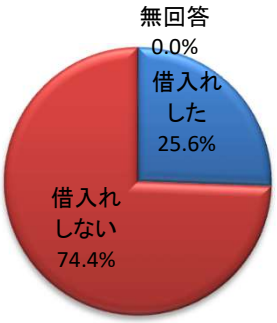
調査時期(見込み)	2021年 7～9月 (10～12月)	2021年 10～12月 (1～3月)	2022年 1～3月 (4～6月)	2022年 4～6月 (7～9月)	2022年 7～9月 (10～12月)	2022年 10～12月 (1～3月)	2023年 1～3月 (4～6月)	2023年 4～6月 (7～9月)	2023年 7～9月 (10～12月)	2023年 10～12月 (1～3月)
兵庫県	1.8	3.9	4.4	6.9	16.6	14.5	18.1	13.9	16.3	15.6

金融機関からの信用保証付要請は、「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を大幅に上回っています。

Ⅲ.当期（23年10～12月期）の借入れ（実績見込）についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをしましたか。
※手形の割引は含めません

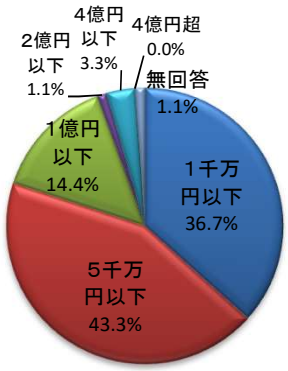
	23年10～12月期		23年7～9月期	23年4～6月期	23年1～3月期	22年10～12月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	90	25.6%	25.0%	20.3%	16.9%	22.9%
借入れしない	262	74.4%	75.0%	79.7%	83.1%	77.1%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	352	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



当期の借入れは、前期と比べ、0.6ポイント増加しています。

当期に借入れした総額はいくらですか。

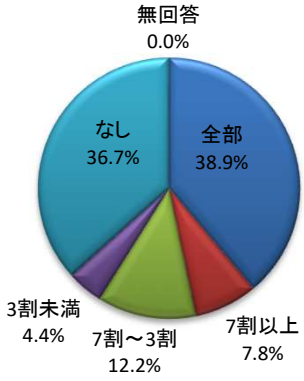
	23年10～12月期		23年7～9月期	23年4～6月期	23年1～3月期	22年10～12月期
借入れ総額	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	33	36.7%	30.3%	37.3%	35.8%	35.6%
5千万円以下	39	43.3%	44.9%	37.3%	43.3%	42.5%
1億円以下	13	14.4%	16.9%	16.9%	9.0%	9.2%
2億円以下	1	1.1%	3.4%	2.4%	10.4%	4.6%
4億円以下	3	3.3%	0.0%	3.6%	0.0%	4.6%
4億円超	0	0.0%	2.2%	1.2%	1.5%	3.4%
無回答	1	1.1%	2.2%	1.2%	0.0%	0.0%
総計	90	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



当期の借入総額は「1千万円以下」「5千万円以下」の合計が80.0%となり、構成比の大半を占めています。

当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

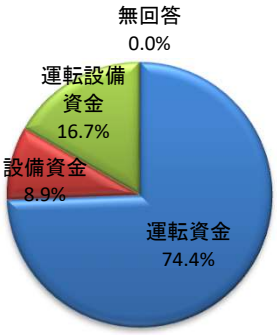
	23年10～12月期		23年7～9月期	23年4～6月期	23年1～3月期	22年10～12月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	35	38.9%	46.1%	36.1%	46.3%	36.8%
7割以上	7	7.8%	5.6%	4.8%	7.5%	11.5%
7割～3割	11	12.2%	5.6%	13.3%	7.5%	11.5%
3割未満	4	4.4%	6.7%	6.0%	6.0%	9.2%
なし	33	36.7%	34.8%	39.8%	32.8%	31.0%
無回答	0	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	90	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合は「全部」とする回答が最も多く、約4割を占めています。

当期借入金の目的は何ですか。

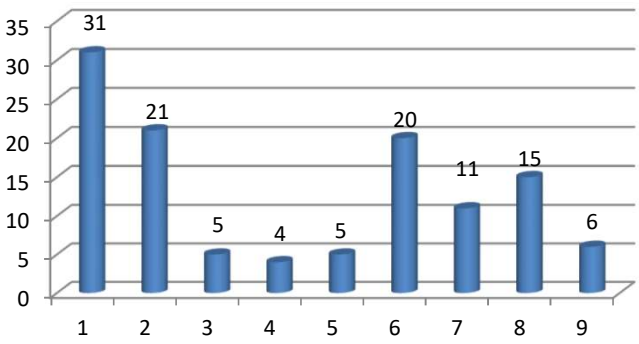
選択肢	回答数	構成比
運転資金	67	74.4%
設備資金	8	8.9%
運転設備資金	15	16.7%
無回答	0	0.0%
総計	90	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか（複数回答）。

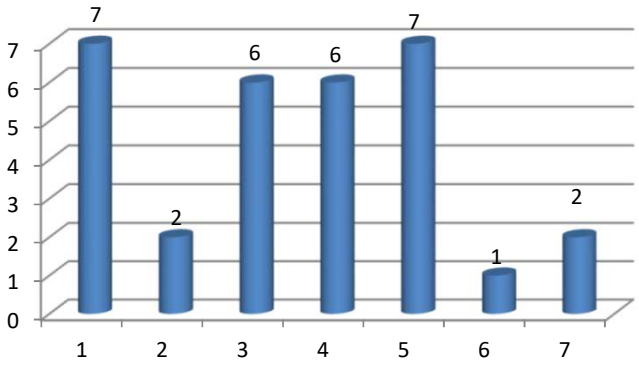
選択肢		回答数
1	***既往借入の借換え***	***31***
2	売上減少・赤字補填	21
3	過剰在庫対応	5
4	支払条件短縮対応	4
5	回収条件悪化対応	5
6	売上増加運転資金	20
7	在庫積み増し	11
8	季節運転資金	15
9	その他	6
総計		118



運転資金の種類は、「既往借入の借換え」が一番多く、次いで「売上減少・赤字補填」「売上増加運転資金」となっています。

上記で「設備資金」「運転設備資金」と答えた方は、設備資金の種類は何ですか（複数回答）。

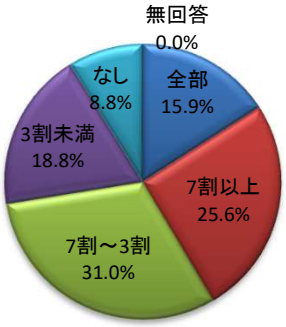
選択肢		回答数
1	***新規事業***	***7***
2	生産増強	2
3	合理化・効率化	6
4	設備老朽化に伴う入替	6
5	***修理・修繕***	***7***
6	公害防止・環境関連	1
7	その他	2
総計		31



運転資金の種類は、「新規事業」「修理・修繕」が一番多く、次いで「合理化・効率化」「設備老朽化に伴う入替」となっています。

Ⅳ. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末(23年12月末)借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

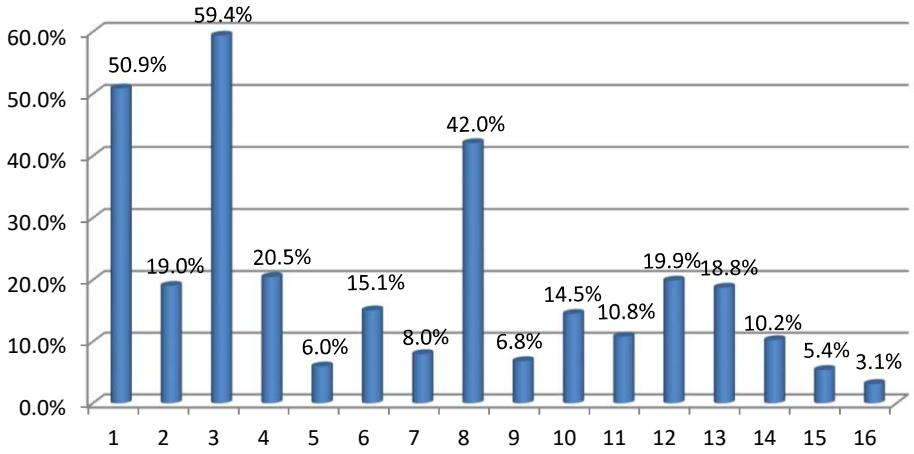
	23年10～12月期		23年7～9月期	23年4～6月期	23年1～3月期	22年10～12月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	56	15.9%	17.4%	16.6%	17.1%	15.8%
7割以上	90	25.6%	23.3%	18.6%	19.6%	21.6%
7割～3割	109	31.0%	31.5%	34.7%	31.7%	32.6%
3割未満	66	18.8%	19.4%	20.5%	24.2%	19.5%
なし	31	8.8%	8.4%	9.5%	7.3%	10.5%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	352	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



信用保証利用の割合は、「7割以上」「なし」とする回答が増加し、
「全部」「7割～3割」「3割未満」とする割合が減少しました。

Ⅴ．その他（経営上の課題等）について該当する番号をご記入ください（複数回答）。

選択肢		回答数	回答割合	選択肢		回答数	回答割合
1	***売上・受注の減少***	***179***	***50.9%***	9	過剰在庫	24	6.8%
2	競争激化	67	19.0%	10	設備投資	51	14.5%
3	***コスト高***	***209***	***59.4%***	11	後継者難	38	10.8%
4	業界構造変化	72	20.5%	12	資金調達	70	19.9%
5	取引条件の悪化	21	6.0%	13	借入過多	66	18.8%
6	消費者ニーズの多様化	53	15.1%	14	為替	36	10.2%
7	技術・商品開発	28	8.0%	15	海外景気の減速	19	5.4%
8	***人材・労働力の確保***	***148***	***42.0%***	16	その他	11	3.1%



経営上の課題については、「コスト高」「売上・受注の減少」「人材・労働力の確保」が群を抜いて上位となっています。次いで、「業界構造変化」「資金調達」「競争激化」となっています。